



**No. 5** 2005.4.2

**CONTENTS**

特集 青春の一ページ …… 1・2  
 平成16年度国際交流のあゆみ …… 3  
 東亜大学校と国際交流協定締結 …… 3  
 国際交流ふれあいフェスタ2004 …… 4  
 地域との交流 …… 4  
 在籍留学生ズームアップ …… 5  
 留学生の四季 …… 6  
 故郷を遠く離れて …… 6  
 卒業生通信 …… 7  
 国際交流センターからのお知らせ …… 8  
 国際交流協定校一覧 …… 8

発行/  
 九州産業大学国際交流センター  
 〒813-8503  
 福岡市東区松香台2-3-1  
 TEL. (092)673-5588  
 FAX. (092)673-5611

**特集 青春の一ページ**

九州産業大学では、国際感覚の醸成やグローバルな視野と知識を持つ人材の育成を目的として、国際交流協定校への交換留学生としての派遣のみならず、様々な機会を通じて学生を海外へ派遣しています。

今回は、パリで行われた「フランス政府主催芸術プログラム」に参加した西村晶子さん、韓国の国際交流協定校への「学生親善訪問団」に参加した紐本益紹さん、田代伸晃さんの3人に、青春の一ページとして、感動の場面を振り返っていただきました。

それぞれに短期間の海外派遣ではありましたが、貴重な人生の「宝物」を得たようです。



パリの街角 (撮影：西村晶子さん)

**フランス政府主催芸術プログラムに参加して**

**西村 晶子** さん [芸術学部デザイン学科 平成17年3月卒業]

私は昨年9月に1週間パリで行われた芸術プログラムに参加しました。このプログラムは世界の現代芸術に興味のある若者を対象としたもので、現代芸術に触れながら国籍や文化の異なる同世代の若者との交流を目的としたものでした。参加したのはイタリアから2人、ウズベキスタンから1人、ハンガリーから1人、フランスから5人、モルドバから1人、モロッコから4人、セルビア・モンテネグロから1人、ロシアから1人、それに日本から4人の20人でした。

このプログラムへの参加を志望した理由は二つありました。一つは、私の好きなフランスのデザイナーの生まれ育った土地に興味があり、行ってみた

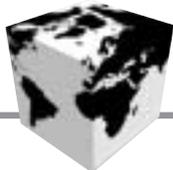
かったことです。私は3年次のデザイン研究で、シャルロット・ベリアンというデザイナーについて研究しました。彼女のデザインした椅子に惹かれたことがきっかけです。その椅子はペリアンチェアといい、シンプルなのですがどこかおどけた感じのするユニークな椅子です。このユニークさはおそらく日本では生まれなかったのではないのでしょうか。こんなにかわいらしいデザインを生み出す彼女の育った土地はどんな所なのだろう、と次第にフランスへの興味も膨らんでいきました。そうした思いが一つの理由です。

もう一つは、芸術に興味のある世界の若者たちと、お互いの芸術に対する思いや考えを話し合ってみたくと思ったからです。これは、今回のようなチャンスでなければなかなか体験できることではないからです。実際、パリで過ごした1週間で、私にとってずっと忘れることのできないほど素晴らしい仲間との出会いがありました。今もそこでの仲間とメールをやり取りしています。

私がこのプログラムで受けた感動は、“たとえ言葉は分からなくても、相手のことを分かろうとする気持ちや分かりたいと思う気持ちがお互いになれば、分かり合うことはできる”ということです。と言うのは、プログラムの間、私はフランス語で皆と意見交換をすることはほとんどできませんでした。ですが、相手がスケッチブックに絵を描きながら、私の目を見ながらゆっくりとしたフランス語で説明してくれたので、きっとこういうことを言っているのだろう、と理解することができました。また、私の作品を見せると彼らは指をさし、「これ、いいね。」「これは、何？」と興味を持ってくれ、「なぜこうしたのか、なぜこうしなかったのか。」と具体的にデザインの意図を聞いてきました。私はどうにかして自分の考えを伝えようと、知っている単語を並べるのが精一杯でしたが、皆真剣に聞いていました。また、次の言葉を悩んでいる時は、私の言いたいことを“こういうことじゃない？”と皆がそれぞれに言ってくれました。気持ちが伝わって行き、伝わって来るのを嬉しく感じました。



各国から参加した若者たちと (右から2人目が西村さん)



## 特集 青春の一ページ

次に、フランスという土地で感じたフランスのデザイン精神について述べます。私は始めの1週間研修に参加し、その後ひとりで1週間観光したので、2週間パリに滞在しました。フランスで感じたのは、“時間がゆっくりと流れている”ということです。そして、“人々が生活を楽しんでいる”ということです。

フランスは街に自然がよく溶け込んでいて、街中に公園がたくさんあります。そこでは年齢を問わず人々が休息を楽しんでいました。例えば、ベンチで日なたぼっこをしている老夫婦、木陰で果物をかじっている若い女性、愛犬と川沿いを散歩する人、黙々とスケッチをしている学生、これらの光景がなごやかに、ゆっくりとして見えたのは、自然が溶け込んだ街並みというものに関係しているのではないのでしょうか。自然が溶け込んだ空間自体が人々に安らぎを与えているように感じました。公園にはベンチがあり、噴水があり、木や花がたくさん植えてあります。こういった憩いの空間が人々を生か生きとさせ、生活を楽しくさせているように感じました。お洒落なカフェで会話をを楽しむ人々、町中にあふれるかわいらしい色やお店の看板、お店に入る時や切符を買う時など、必ず笑顔で“ボンジュール！”と挨拶する習慣な

ど、これらの瞬間を見る度に、フランスの人は生活を楽しんでいるな、と感じました。

この2週間で私が気付いたことは、生活を楽しもうとする精神を生み出す素は、フランスの街に溶け込む自然なのだということです。この精神がフランスのユニークなデザインを生み出す素などではないか、と考えます。



パリの街角 (撮影：西村晶子さん)

## 韓国協定校への学生親善訪問団派遣

紐本 益紹 さん (芸術学部写真学科4年)

派遣先：蔚山大学校デザイン大学 (蔚山廣域市)  
東西大学校デザイン学部 (釜山廣域市)  
平成16年9月6日(月)～11日(土) 35人参加



蔚山大学校の学生と (中段左から2番目が紐本さん)

今回は大学初の学生親善訪問団の派遣、しかも、自分自身初めての外国なので緊張していましたが、高速船に乗った途端、その緊張も吹き飛びました。当日は台風が接近中で海が大荒れとなり、みんな気合で船酔いを押さえなければならず、緊張する暇もなかったのです。

韓国では、まず、最初の訪問先である蔚山大学校の学生に温かく迎えられました。

蔚山大学校では、同大学校の学生が我々の受入れに自ら積極的に取り組んでおり、様々な心遣いを受けたのが印象的でした。台風が通過中で大変なところを、工場や史跡等の見学には必ず同行してくれ、自由時間には学生だけの交流が活発に行われました。我々が東西大学校に移動した後も、帰国の時に釜山港まで見送りに来てくれたのは、とても感動しました。

次の訪問先の東西大学校では、設備の凄さに驚嘆しました。パーチャルスタジオは小学校の体育館ぐらいの広さがあり、他にも本学にはない様々な設備が揃っ

ていました。また、大学と企業との関係も強く、インターンシップなども頻繁に行われているなど、本学との違いを感じました。

全行程を通じて感じたことですが、今回の訪問で接した韓国の方々とはとても気さくで優しく、外国人という気持ちの隔たりを感じませんでした。

コミュニケーションでは、言葉は片言でも、身振り手振りや直感で気持ちが通じることが分かった時は感動しました。通じないと決めつけずまず話してみることが大事なのだと実感し、話すことへの勇気が身につけられたと思います。

なお、文化の違いでは驚くこともありました。一家に一台、キムチ用の冷蔵庫があること、地下鉄の料金が均一であることなど、細かなことですが驚きの連続でした。

今回の訪問を通して、様々な情報にあまりとらわれることなく実際に自分で体験し考えることの大切さを実感でき、とてもよい勉強になりました。

田代 伸晃 さん (商学部第一部観光産業学科4年)

派遣先：忠南大学校経商大学 (大田廣域市)  
平成16年10月31日(日)～11月3日(水)  
12人参加



ホームステイ先にて (中央が田代さん)

楽しかった！本当に楽しかった！楽しすぎて、少し韓国シックにかかったくらいだ。大田では忠南大学校の学生と交流し、ホームステイすることになっていたので、行く前は言葉も通じない面白くないだろうと思いきり、大田での2日間は諦め、釜山での2日間を思いっきり楽しめばいいと考えていた。しかし実際は、大田での2日間があまりにも楽しすぎて、釜山観光はほとんど印象に残っていないというのが正直なところだ。対面式の時はお互いギクシャクしていたけど、サムゲタンを食べる頃には皆打ち解けていた。片言の英語とジェスチャーだけで十分コミュニケーションは取れた。私の発音はめっちゃくちゃで聞き取り辛いはずなのに理解してもらえたことに感謝感謝である。

夜は自由行動なので2日も街にくり出し、食事をしたりカラオケに連れて行ってもらった。普段日本でもしていることなのだが、異国の地で異国の

人と一緒だったからなのだろうか、日本では感じたことのない楽しさを味わうことが出来た。驚くことに食事代やタクシー代は全てパートナー達が払ってくれた。自分も出そうとするのだが断られ、それが韓国の文化とはいえ、少し戸惑ってしまった。これだけでもなしてもらったので、今度彼らが日本に来た時は自分達が韓国で楽しんだ以上に楽しませてあげたいと思う。

忠南大学校の学生との交流の話があった時、参加するかしないか悩んだ。ホームステイが組み込まれていたからだ。しかし今考えると、ホームステイでなければあれほどの楽しい経験はできていなかったはずだ。国際交流がこんなに素晴らしいものだとは思ってなかった。参加してよかったと心から思う。是非これからも続けていてもらいたいし、また参加したい。



## 平成16年度国際交流のあゆみ

九州産業大学の国際交流は、年々活発になりますますます充実して来ています。平成17年2月に東亜大学校（韓国）との間に国際交流に関する協定を締結、また3月には東国大学校（韓国）との間で交換留学に関する協定が締結され、本学の国際交流に、また新たな歴史が刻まれました。以下に平成16年度における主な国際交流のあゆみを紹介します。

### 受 入 れ



平成16年5月28日(金)～7月1日(木)

カリフォルニア州立大学フラートン校、サイプレス大学（アメリカ）からの学生・教員受入れ  
 ◎目的：異文化交流（福岡市協賛事業）  
 ◎受入れ：学生31人・教員3人  
 ◎受入れ教員：  
 高橋 真理枝 教授  
 プライアン・キルン 教授  
 ロバート・マーサー 助教授



平成16年7月10日(土)～7月14日(水)

東亜大学校デザイン学部（韓国）からの学生・教員受入れ  
 ◎目的：学生・教員交流  
 ◎受入れ：学生35人・教員1人  
 ◎受入れ教員：  
 李 東勲 教授



平成16年7月15日(木)～7月24日(土)

蔚山大学校デザイン大学（韓国）からの学生・教職員受入れ  
 ◎目的：学生・教員交流及び集中講義受講  
 ◎受入れ：学生40人・教職員3人  
 ◎受入れ教職員：  
 李 泰庚 教授（副学長）  
 全 聖福 教授  
 李 武南 事務職員



平成17年2月18日(金)～2月22日(火)

忠南大学校経商大学（韓国）からの学生・教員受入れ  
 ◎目的：学生・教員交流  
 ◎受入れ：学生14人・教員2人  
 ◎受入れ教員：  
 劉 璡 教授  
 慮 俊和 教授



平成17年2月21日(月)～2月26日(土)

天津大学（中国）からの教員受入れ  
 ◎目的：学術交流  
 ◎受入れ教員：  
 張 大工 教授（機械工学学院）  
 李 媛 助教授（電子情報工学学院）

### 派 遣



平成16年9月6日(月)～9月11日(土)

蔚山大学校デザイン大学・東亜大学校デザイン学部（韓国）への学生・教職員派遣  
 ◎目的：学生交流  
 ◎派遣：芸術学部学生35人・教職員4人  
 ◎派遣教職員：  
 芸術学部 河地 知木 教授（芸術学部長）  
 芸術学部 泉江 克彦 教授  
 芸術学部 丸尾 繁夫 教授  
 甲斐 宏二（国際交流センター職員）



平成16年10月30日(土)～11月4日(木)

天津大学（中国）への教員派遣  
 ◎目的：学術交流  
 ◎派遣教員：  
 工学部 藤本 孝 教授  
 松岡 剛志 講師



平成16年10月31日(日)～11月3日(水)

忠南大学校経商大学（韓国）への学生・教員派遣  
 ◎目的：学生交流  
 ◎派遣：商学部学生12人・教員2人  
 ◎派遣教員：  
 商学部第一部 高橋 公忠 教授（商学部第一部長）  
 商学部第一部 山田 秀 助教授



平成16年11月22日(月)～11月24日(水)

蔚山大学校デザイン大学（韓国）への教員派遣  
 ◎目的：韓日教授作品交流展及びオープニングセレモニー出席  
 ◎派遣教員：  
 芸術学部 河地 知木 教授（芸術学部長）  
 芸術学部 井上 真一 講師

### 東亜大学校と大学間国際交流協定を締結

本学と東亜大学校（韓国：釜山市）との国際交流に関する協定締結の調印式が、2月14日(月)本学で執り行われました。調印式には、本学から佐護学長、持田国際交流センター所長、本学園の役員、各学部長その他多数の学内関係者が、東亜大学校からは、崔在龍（チェ ジェリョン）総長、他2人の代表団が出席されました。調印式終了後のティーパーティーでは、両大学の関係者が和やかな雰囲気の中で歓談され、友好の絆を確かめられていました。

東亜大学校は、1946年に釜山に設立された私立の総合大学で、本学とは以前からスポーツや学部間での交流が行われ、親交を深めてきました。このたびの協定締結により韓国での国際交流の締結先は6大学となりました。また、韓国では初めての交換留学協定校となり、平成17年度から学生受入れ・派遣が行

われる予定です。

なお、平成13年度に交流協定を締結した東国大学校（韓国・ソウル市）とも3月2日(水)に両大学ともに念願であった交換留学に関する協定を締結しました。これによって、これら2大学との友好親善がますます深まり、両国間の国際交流に大きな役割を果たすことが大いに期待されます。



### 平成16年度交換留學生の横顔

#### ●派遣

##### リバプール・ジョン・モーズ大学(イギリス)

派遣期間/平成16年8月～平成17年1月  
 氏 名/大瀧 拓朗（経営学部国際経営学科4年）  
 佐世保商業高校出身  
 山中 明（国際文化学部国際文化学科4年）  
 上五島高校出身  
 乗田よしみ（国際文化学部国際文化学科3年）  
 山口中央高校出身  
 橋口 尊洋（国際文化学部国際文化学科3年）  
 城南高校出身



大瀧 拓朗さん 山中 明さん 乗田よしみさん 橋口 尊洋さん

##### リーズ・メトロポリタン大学(イギリス)

派遣期間/平成16年8月～平成17年1月  
 氏 名/宮武 弥生（経済学部経済学科4年）  
 大牟田北高校出身  
 伊藤 悦史（商学部第一部観光産業学科3年）  
 開新高校出身



宮武 弥生さん 伊藤 悦史さん

##### アピリン・クリスチャン大学(アメリカ)

派遣期間/平成16年8月～平成17年1月  
 氏 名/森 三希子（経営学部国際経営学科4年）  
 福岡中央高校出身  
 福島 隆盛（国際文化学部国際文化学科2年）  
 鹿児島南高校出身



森 三希子さん 福島 隆盛さん

##### リール・カトリック大学(フランス)

派遣期間/平成16年8月～平成17年1月  
 氏 名/上利 美寿（国際文化学部国際文化学科3年）  
 大津高校出身  
 本村 麻衣（国際文化学部国際文化学科3年）  
 島原高校出身



上利 美寿さん 本村 麻衣さん

##### 中国人民大学(中国)

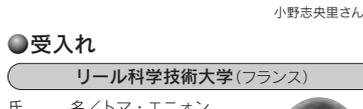
派遣期間/平成16年8月～平成17年1月  
 氏 名/高良 愛香（経営学部国際経営学科3年）  
 首里高校出身  
 松元美奈子（国際文化学部国際文化学科3年）  
 博多青松高校出身



高良 愛香さん 松元美奈子さん

##### シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)

派遣期間/平成16年10月～平成17年1月  
 氏 名/小野志央里（芸術学部デザイン学科4年）  
 鎮西敬愛高校出身

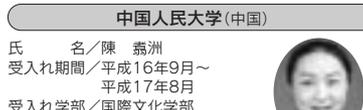


小野志央里さん

#### ●受入れ

##### リール科学技術大学(フランス)

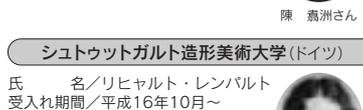
氏 名/トマ・エニオン  
 受入れ期間/平成16年10月～平成17年6月  
 受入れ学部/情報科学部  
 社会情報システム学科  
 トマ・エニオンさん



トマ・エニオンさん

##### 中国人民大学(中国)

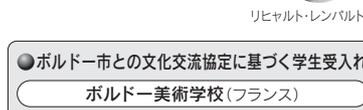
氏 名/陳 翊洲  
 受入れ期間/平成16年9月～平成17年8月  
 受入れ学部/国際文化学部  
 国際文化学科  
 陳 翊洲さん



陳 翊洲さん

##### シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)

氏 名/リヒャルト・レンバルト  
 受入れ期間/平成16年10月～平成17年1月  
 受入れ学部/芸術学部  
 芸術工芸学科  
 リヒャルト・レンバルトさん

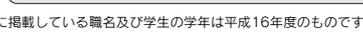


リヒャルト・レンバルトさん

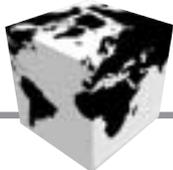
#### ●ボルドー市との文化交流協定に基づく学生受入れ

##### ボルドー美術学校(フランス)

氏 名/ティトリー・ベルメール  
 受入れ期間/平成16年10月～平成16年12月  
 受入れ学部/芸術学部写真学科  
 ティトリー・ベルメールさん



ティトリー・ベルメールさん



# 国際交流ふれあいフェスタ2004

国際交流センターでは、留学生に対する日本文化の紹介や、留学生と日本人学生、学内教職員及び地域の方々の交流を深めるため、国際交流ふれあいフェスタ2004を開催しました。

国際交流ふれあいフェスタ2004は、日本人学生、地域の方々の参加者が増加、交流を深め好評のうちに終了しました。

## 第1回 「中国伝統音楽の夕べ」

—「胡弓」の調べ—



開催日：2004/9/30(木)  
開催時間：18:00～19:30  
会場：8号館1階メモリアルホール  
出演者：  
楊 芸 さん(胡弓)  
程 風春 さん(歌・舞踏)  
楊 晶 さん(琵琶・楊琴・柳琴)

## 第3回 「金太夫のおしゃべりナイト」

—博多の伝統行事—



開催日：2004/11/30(火)  
開催時間：18:00～19:15  
会場：国際交流センター懇話室  
講師：錦山亭金太夫 さん  
(博多筆師)

## 第2回 「お国自慢料理入門」

—留学生が母国の自慢料理を作り、レシピを解説—



開催日：2004/10/25(月)  
開催時間：18:00～19:30  
会場：国際交流センター懇話室  
参加国&メニュー  
(中国) 水餃子  
(韓国) キムチチヂミ  
(ネパール) チキンカレー  
(日本) 手巻き寿司  
協力：九州産業大学留学生会  
学友会学術文化会  
裏千家茶道部

## 第4回 「津軽三味線の夕べ」



開催日：2004/12/16(木)  
開催時間：18:00～19:10  
会場：8号館1階メモリアルホール  
出演者：鹿野永勝さんとその社中

## 地域との交流 (2004年度)

### ■留学生派遣及び学外交流事業への参加一覧

本学に学ぶ留学生は、在学中様々な交流活動に参加し、彼ら自身が日本の文化や慣習に触れると共に、地域の方々との交流を深めています。

近年は、地域の小中学校をはじめとして、留学生に対する派遣要請が多くなっており、留学生は、国境や年齢の隔たりを越え、真心で参加するとともに交流を意義あるものにするため、がんばっているようです。

2004年度には右記のような交流を行っております。

日時	派遣先	内容	国籍	派遣者数
H16. 8 .23(月) ～ 8 .27(金)	沖 縄	第8回九州アジア大学	中国(1)	1
H16. 9 .17(金)	香住丘小学校	日本伝統文化フェスタ～日本の伝統文化をさくらう～	中国(2)、バングラデシュ、韓国、フランス(各1)	5
H16. 9 .18(土)	下原小学校 香住丘小学校	NPO法人「シテクリエイト愛都夢」依頼による中国語講座	中国(1)	1
H16. 9 .25(土)	和白丘中学校	社会人講話	ネパール(2)、バングラデシュ、マカオ、フィリピン、コロンビア(各1)	6
H16.10. 7 (木)	香住丘小学校	総合的な学習の時間「アンニョン ハセヨ」	韓国(2)	2
H16.10.19(火)	美和台小学校	国際理解教育活動支援「韓国」	韓国(2)	2
H16.11.16(火)	香椎小学校	総合的な学習の時間「僕ら地球人」	バングラデシュ、フィリピン、アルバニア、ブラジル(各1)	4
H16.11.22(月)	香椎小学校	総合的な学習の時間「僕ら地球人」	ネパール(2)、ブラジル、パナマ(各1)	4
H17. 2 . 3 (木)	香住丘小学校	総合的な学習の時間「ネパールの暮らしについて」	ネパール(1)	1



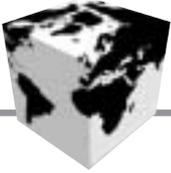
H16.9.17 香住丘小学校



H16.9.18 下原小学校



H16.10.7 香住丘小学校



## 在籍留学生ズームアップ（九州産業大学留学生の現状）

九州産業大学では、多くの外国人留学生が学んでおり、出身国・地域もアジアを中心に多彩な顔ぶれとなっています。また、海外の国際交流協定締結大学との間の交換留学生の派遣・受入れも活発に行われています。

本学の留学生と日本人学生及び地域社会との国際交流が、キャンパス内外の様々な場面で展開されており、学生のグローバルな視野や国際感覚の醸成にふさわしい環境が形成されています。

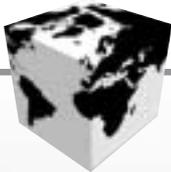


九州産業大学留学生数（出身別総計）

平成16年5月1日現在

出身	学部学生数	学部研究生数	大学院学生数	大学院研究生数	合計
中国	375(164)	39(14)	88(42)	5(2)	507(222)
韓国	20(11)	2(0)	10(4)	0(0)	32(15)
台湾	4(2)	1(1)	5(3)	0(0)	10(6)
ネパール	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
バングラデシュ	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	2(0)
フィリピン	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
ポルトガル	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
フランス	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
アルバニア	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
パナマ	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
ブラジル	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
コロンビア	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
合計	402(177)	47(16)	106(49)	5(2)	560(244)

( ) 内の数字は女子留学生数で内数



## 九州産業大学の在籍留学生に対する支援体制

九州産業大学では、外国人留学生が円滑に留学生活が送れるよう、修学・生活指導を中心に、福利厚生及び育英奨学金等についての支援体制を整えています。

主な内容は次のとおりです。

### 1. 経済的支援

- 私費外国人留学生授業料減免制度  
※成績不良者には適用されません。
- 九州産業大学独自の給付奨学金制度
  - ①九州産業大学外国人留学生奨学金
  - ②九州産業大学大学院奨学金
  - ③上野拓記念奨学金
  - ④同窓会楠風会外国人留学生育英奨学金
- 国民健康保険料援助  
※国民健康保険に加入した留学生(初年度のみ)への保険料援助

### 2. 生活支援

- 大学所有の学生用宿舎  
立花寮(男子学生のみ) ※留学生専用ではありません。
- 留学生住宅保証制度

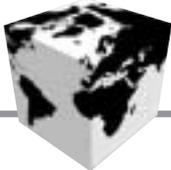
### 3. 修学・生活関係指導会等の開催

- ①留学生オリエンテーション
- ②留学生学部別懇談会
- ③留学生大学院研究科別懇談会
- ④留学生在留生活指導会
- ⑤留学生交通安全指導会

### 4. その他の支援

- 留学生アドバイザーの配置  
大学院又は学部上位学年の留学生をアドバイザーとして、また韓国出身の職員を国際交流センターに配置し、窓口での相談等に対応しています。

その他、本学では、留学生の組織として九州産業大学留学生会があり、遠く母国を離れた留学生同士が国境を越えて協力し、互いに励ましあって勉学に精進すると共に、学内及び地域社会での国際交流を深めるべく、様々な行事の実施及び地域行事への参加等の活動をしています。



## 留学生の四季

遠く母国を離れ、本学に学ぶ留学生は、心に描いた目標に向かって生活しています。国際交流センターでは、留学生会の協力で、四季それぞれの交流行事を開催しています。これらの交流行事には、日本人学生が参加できる行事もあり、国境を越えた友情が育まれています。

4月

### 入学式

H16.4.3(土)10:00~  
14:00~  
体育館



### 新入留学生オリエンテーション

H16.4.9(金)  
学部1年  
大学院1年



### 留学生安全運転講習会

H16.4.11(日)  
福岡市自動車学校  
留学生：25人



5月

### 新入留学生バスハイク

H16.5.23(日)  
阿蘇ミルク牧場(熊本)  
留学生：90人



7月

### 留学生在留生活指導会

H16.7.15(木)14:50~16:00  
1号館 S101番教室  
留学生：251人



11月

### 香椎祭(模擬店)

H16.11.1(月)~3(水)  
●韓国



12月

### 留学生ホームビジット

H16.12~H17.3  
留学生：35人  
受入れ教職員：18人



### 留学生クリスマスパーティー・カラオケ大会

H16.12.21(火)18:00~19:40  
学生食堂(中央会館1階)  
留学生：108人  
交換留学生：2人  
日本人学生他：24人  
教職員等：11人  
計：145人



1月

### 留学生学部・大学院研究科別懇談会

H17.1.26(水)~28(金)  
1号館2階S204番教室他  
留学生：197人



3月

### 外国人留学生送別会

H17.3.16(水)18:00~19:30  
福岡リーセントホテル

### 学位授与式

H17.3.18(金)10:00~  
体育館



## 故郷を遠く離れて

ウム スンミン  
陰 承民さん (O2AP007)  
芸術学部 写真学科 4年  
韓国(ソウル)出身



本学では多くの国・地域から来た留学生が学業に励んでいます。今回紹介する韓国からの留学生、陰承民さんもその一人ですが、陰さんは学業に励むと同時にバスケットボールの選手としても活躍している異色の存在です。本学バスケットボール部に所属している陰さんは、全国大会、西日本大会等多くの大会にチームの中軸選手として出場し、最優秀選手賞、リバウンド王等、幾つもの個人タイトルを獲得しており、また、九州学生選抜チームの一員にも選ばれています。ここでは、故郷を遠く離れて学業とバスケットボールに打ち込む陰さんにお話を聞いてみました。

### 日本(本学)留学の動機は何ですか

私は韓国の高校を卒業後、アルバイトをして貯めたお金でアメリカ、カナダ、ヨーロッパ等を旅行し、大変貴重な経験を得ることができました。そして、今度は外国に留学し、自分を更に成長させたいと思うようになりました。また、私は小学校からバスケットボールに打ち込んでおり、留学するのなら勉強とバスケットボールを両立できる大学に行きたいと考えていました。

そんな中、九州産業大学なら勉強とバスケットボールに専念できそうであること、以前から興味があった写真を学べる学科があることなどから、入学を決意しました。

### 福岡に来たときの印象はいかがでしたか

福岡に来る前は、東京のように人や車が多い都会かなと思っていたのですが、実際に福岡に来て、空港から九州産業大学に向かう途中の風景を見ると、想像していたものとは異なり、高い建物が少なく、海や山等が大学の近くにあり、驚きました。

最初は色々な面で戸惑うこともありましたが、勉強とバスケットボールに集中できる環境なのがとても気に入りました。すぐに福岡の街に慣れ、最近では、きれいな空を見たり撮影したりするのが習慣になりました。

### 日本人の印象はどのようなですか

私から見た日本人の印象は、皆、優しく真面目です。しかし、初対面の人に対して自分から声をかけずに、相手の様子を探っているように感じます。少しずつ話していくと、心が開き出し、親近感が持てるようになってきます。

また、日本人は純粋な人が多いと思いました。

### 本学での留学生生活はどのようなですか

入学した頃は日本語が上手ではなかったのですが、授業では日本人の友達の協力があって、分かりやすく勉強することができました。私は写真学科に在籍しているので、授業は基本的に講義と実習です。写真に関する多くの知識を学ぶことができたのは、本当によかったです。日本人の友達もたくさんできて、大学生活はとても充実しています。

また、私はバスケットボール部の一員として、部員の仲間と共に全国優勝を目指して日々練習に励んでいます。

### 最後に故郷のお話と今後の目標を聞かせて下さい

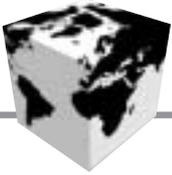
私が生まれたソウルは、東京のような都会です。四季の変化は日本と変わりませんが、冬は寒く、-10℃程度になります。韓国内の食べ物や特産品がソウルに集まっており、大抵のものは食べられます。また、アメリカ風のファーストフードが浸透しています。日本と比較すると、普段の食事に出るお惣菜は日本の方が油を多く使っているようで、来日当初は食べるのに抵抗がありました。

韓国の若者は日本の若者と似ていますが、仲間同士の連帯感や韓国の方が強く、日本の若者の方が個人主義的な傾向になるように思います。また、韓国の若者は、日本の若者の個性的なファッションにとっても興味を持っています。

2002年に日本と韓国で行われたサッカーの世界カップをきっかけとし、その後韓流ブームが起こったことなどもあって、日本と韓国の距離はとて近くなったと思います。私は高校生の頃に日本に来たことがありますが、その時は、出発前に少しかた怖さを感じていました。しかし、今では、私に限らず多くの人か何の抵抗もなく本当に気軽な気持ちで互いの国を訪問しています。昔のような「近くて遠い国」ではなく「身近に感じるお隣さん」という気持ちで芽生え始めているのだと思います。

私は大学卒業後、プロバスケットボールの選手になることを希望しています。バスケットボールは選手として活躍できる期間が他のプロスポーツより短いのですが、体が動く間はバスケットボールに専念したいと思っています。

その後は、大学の勉強で得た知識を活かし、好きな写真に関する仕事をしたいと考えています。



## 卒業生通信

### 学ぶ機会を与えてくれた日本



成 美瓊 (韓国)

2004年3月 大学院芸術研究科  
造形表現専攻博士後期課程単位  
取得満期退学

アンニョン ハセヨ！ 私はソン ミギョンと申します。韓国からの留学生で日本に11年間いました。私の日本での留学生活は、一言で言えば留学して正解だったということです。日本は私に多くの学ぶ機会を与えてくれました。私は日本で芸術（デザイン）を学んで、社会を学んで、人生を学びました。私はけっして日本で過ごした日々を忘れることは出来ません。

私が日本に留学したきっかけは、正直に言っても、日本に興味があるとか、憧れていたという事ではありませんでした。ただデザインの勉強をやり直したくてその場所を探していたのです。その時、私が通っていた大学の先生が「日本の九州で芸術を学ぶなら九州産業大学がいいよ」と言ってくだったので、それから日本での留学生活が始まったのです。最初は何も分からな

くて勉強ばかりしていました。でも、九州産業大学で多くの友人ができたことから、勉強する傍ら、日本での生活を楽しむことができるようになりました。本格的に楽しんだのはアルバイトを始めてからです。それまでは箱入り娘のように母国の両親からの仕送りを貰って、何不自由なく暮らしていたので、明確な目標もなくただ漫然とやっていたのです。でも、アルバイトをしながら社会の厳しさを味わい、少しずつではありますが、人生というものを感じ始めました。日本での留学生活で泣いたり、笑ったりしているうちに、自然と精神的に強くなっていました。勉強が本当に楽しくなったのは大学院に入ってからです。普段から言語に興味があったので大学院でも、専攻のデザインを勉強すると共に言語とコミュニケーションについても学びました。先生の紹介して下さった本を読み、先生とデザインについて色々話していくうちに、デザインって本当に興味深いなと思いました。振り返るとそういう先生に出会い、その先生の指導でデザインの勉強が出来たということに本当に感謝しています。また、韓国語を教えながら多くの日本人と知り合えたのは、今の私にとっては宝物です。色々な人々と出会って色々なお話をすることで、改めて日本を知りました。言語を知るということはその国を知ること

だと言っても過言ではないでしょう。私は本当に日本に来て、日本語を知って良かったと思います。

私は現在、アメリカで留学生活を送っています。日本で味わった色々な経験が私の目を世界に向かさせたのです。また新たな留学生活の始まりです！ もちろんすごく不安です。まだ渡米して5カ月しか経っていませんから。今は最初日本に行ったときと全く同じ状況です。どうやっていけばいいのか、見当もつきません。でも、「またやっていけるかな？」と心配になる時は、日本での色々な事を思い出します。それは私の力の源だから…。今本当に日本が懐かしくてたまりません。でも「頑張らなきゃ！」って、毎日自分を自分で励ましています。



### 日本に留学して学んだこと



ナタリー・ヴィーレ  
(イギリス)

2003年度 交換留学生  
経営学部国際経営学科

私は、イギリスのリバプール・ジョン・モーズ大学から、交換留学生として2003年9月から2004年7月までの約1年間、九州産業大学に留学していたナタリー・ヴィーレです。

私は、来日する前、日本についてほとんど知りませんでした。かえって何も知らないこと



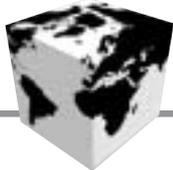
で先入観を持つことなく、自分の感じたままに物事を捉えることができよかったです。日本人は常に他人に対して礼儀正しく、怒りをあらわにすることを嫌がり、正直な気持ちを伝えようとしないという印象を受けました。来日前に2年間日本語を勉強していましたが、相手の言葉を半分は理解できていても、やはり自分から日本語で自分の意見を言うことはできませんでした。イギリスで勉強した2年間は、無駄だったのではないかと悔しい思いをしました。約1年間の留学期間を経て、帰国する頃には、大分日本語を理解することができるようになりました。それは、テキストや授業で学ぶ日本語だけでなく、友人との会話を交わすことで上達したのだと思います。

私は九州産業大学での留学期間中、休暇を利用して日本各地を訪れ、日本の歴史や文化に触れ、とても興味を持ちました。京都や奈良の仏教寺院や神社の中に入ると、時代の変化に影響されることなく、伝統と崇高な雰囲気を保ち続けている、その景観にも息をのみました。地域ごとに独特な雰囲気があり、とても感動しました。また、一方では、長崎のように外国からの影響をたくさん受けている地域があるということを知りました。長崎はとても好きな場所であり、オランダからの影響を受けていると知って驚きました。



また、相撲、歌舞伎、狂言、茶道など多くの日本の文化や伝統芸能に触れる機会があり、とてもよかったです。見て感じたことはまず、物事を行う時には厳しい規則に従い、厳粛な儀式があり、とても高貴な雰囲気を漂わせていると感じました。私の最も好きな日本の伝統のひとつは、相撲です。あれほど興奮し、いろいろな技があるとは知りませんでした。相撲観戦後は、相撲の競技者に対する尊敬の気持ちが湧いてきました。

日本に留学したことで、日本文化を学び、私自身についても見つめ直すことができただけでなく、自分自身大きく成長できたと思います。この時間は、継続して学んでいくひとつの通過点でもあり、私にとって人生のなかでとても貴重な時間になりました。興味のある国はたくさんあるので、今はもっといろいろな世界を見てみたいと思います。



## 国際交流センターからのお知らせ

### 気軽に立ち寄りください



国際交流センター懇話室は、「中国人民日報」「韓国日報」などの新聞や、中国・韓国・台湾の雑誌の閲覧、韓国映画（韓国版のため日本語字幕なし）のビデオを鑑賞できるなど、みなさんが気軽に利用できるスペースです。海外の協定校からの記念品や、留学生からのめずらしいお土産の展示もしています。また、窓口では本学の留学生がアドバイザーとして対応していますので、困ったことや分からないことがあれば、気軽に声をかけてください。

平成17年度から、国際交流協定を締結した韓国・東亜大学校との交換留学が始まります。学内での留学生との交流がますます盛んになりそうです。そこで、話題の“韓流”にちなみ、簡単な韓国語をご紹介します。

日本語	はい	네	韓国語
	いいえ	아니오	
	おはよう・こんばんは	안녕하세요	
	はじめまして	처음 뵙겠습니다	
	私の名前は〇〇です	제 이름은 〇〇입니다	
	どうぞよろしく	차라 부탁드립니다	
	ありがとう	감사합니다	
	どういたしまして	천만에요	

### シリーズ〈お国自慢料理入門〉 ～ネパール編～

今回の〈お国自慢料理入門〉はネパール編で「チキンカレー」を紹介します。ネパール出身の留学生が、母国の味を再現したカレーのレシピです。ご家庭で、ぜひお試しください。

※5～6人分

**材 料** 鶏肉(600g)・玉ねぎ(1個) しょうが・にんにく・トマト(2個) サラダ油・青ネギ又はコリエンダーの葉

**調味料** カレー粉(大さじ1.5) ガラムマサラ(小さじ1) ウコン(小さじ1) お好みでチリパウダー・塩

**作り方**  
 ①玉ねぎ、しょうが、にんにくをみじん切りにする。  
 ②鍋にサラダ油をひき、玉ねぎが茶色になるまで炒める。

③しょうがとにんにく(各大さじ1)を加え、適当な大きさに切った鶏肉を入れる。  
 ④鶏肉に色がついたら、調味料をいれて焦げないように弱火で炒める。  
 ⑤トマトを入れて、ペースト状になるまで炒め、お好みで水を加えながら約10分間煮込む。出来上がったところにコリエンダーの葉を入れる。

※カレー粉には、すでにスパイス入りのものがあります。使用するカレー粉の原材料をよく確認し、調味料を加減してください。

### 九州産業大学国際交流協定校一覧

交流形態	大学名	国名/都市名	大学の紹介	ホームページアドレス
大学間交流	天津大学 Tianjin University	中国 天津市	創立後100年以上の歴史をもち、中国国内や世界的にも屈指の理工学系大学として知られている。	<a href="http://www.tju.edu.cn">http://www.tju.edu.cn</a>
	☆リバプール・ジョン・モーズ大学 Liverpool John Moores University	イギリス リバプール市	国際交流に極めて熱心であり、世界各国の大学と国際交流協定に基づく学生の交換留学を行っている。	<a href="http://www.livjm.ac.uk">http://www.livjm.ac.uk</a>
	☆リーズ・メトロポリタン大学 Leeds Metropolitan University	イギリス リーズ市	建築学、化学、社会政策、行政学の分野での評価が高い。産業界との結び付きも強く、実践的教育が特徴。	<a href="http://www.lmu.ac.uk">http://www.lmu.ac.uk</a>
	☆アビリン・クリスチャン大学 Abilene Christian University	アメリカ テキサス州アビリン市	学生は全米50州から、外国人留学生は60カ国から約300人が学んでいる。	<a href="http://www.acu.edu">http://www.acu.edu</a>
	☆リール科学技術大学 Université des Sciences et Technologies de Lille	フランス リール市	リール科学技術大学は、経済・社会学系と理工学系からなり、別名リール第1大学という。	<a href="http://www.univ-lille1.fr">http://www.univ-lille1.fr</a>
	☆中国人民大学 Renmin University of China	中国 北京市	中国政府が現在推進している「21世紀の重点大学プロジェクト」でも指定を受けている総合大学。	<a href="http://www.ruc.edu.cn">http://www.ruc.edu.cn</a>
	東亜大学校 Dongguk University	韓国 ソウル市	1953年韓国最初の総合大学として認可を受けた私立大学の有力校。仏教大学と文科大学は伝統がある。	<a href="http://www.dongguk.ac.kr">http://www.dongguk.ac.kr</a>
	☆シュトゥットガルト造形美術大学 State Academy of Art and Design Stuttgart	ドイツ シュトゥットガルト市	1761年に創立され、芸術分野における実践教育に重点を置いていることで知られている。	<a href="http://www.abk-stuttgart.de">http://www.abk-stuttgart.de</a>
	☆リール・カトリック大学 Université Catholique de Lille	フランス リール市	世界250校と大学間協カネットワークを持つフランスを代表する私立の総合大学。	<a href="http://www.fupl.asso.fr">http://www.fupl.asso.fr</a>
	東亜大学校 Dong-A University	韓国 釜山市	釜山市の中央と西部に3つのキャンパスをもち、国内でもトップレベルの研究と教育を誇る私立大学。	<a href="http://www.donga.ac.kr">http://www.donga.ac.kr</a>
スポーツ交流	中央大学校 Chung-Ang University	韓国 ソウル市	国内No.1の評価を得ているバスケットボール部、サッカー部及び硬式野球部等が課外活動の中心。	<a href="http://www.cau.ac.kr">http://www.cau.ac.kr</a>
学部間交流	忠南大学校経商大学 Chungnam National University	韓国 大田市	1995年韓国の国立大学に認定され、同年に韓国初の大学総合評価において3位に選ばれた。	<a href="http://www.chungnam.ac.kr">http://www.chungnam.ac.kr</a>
	蔚山大学校デザイン大学 University of Ulsan	韓国 蔚山市	韓国の三大企業の一つである現代グループが経営している大学としても有名で、就職率も全国3位と高い。	<a href="http://www.ulsan.ac.kr">http://www.ulsan.ac.kr</a>
	東西大学校デザイン学部 Dongseo University	韓国 釜山市	教育方針は、外国語、コンピュータ、産学協同の教育などを重点にしている。	<a href="http://www.dongseo.ac.kr">http://www.dongseo.ac.kr</a>
	上海工程技術大学芸術設計学部 Shanghai University of Engineering Science	中国 上海市	上海市に象徴的な改革・開放政策に不可欠な工業技術、芸術設計分野の人材輩出を主な目的としている。	<a href="http://www.sues.edu.cn">http://www.sues.edu.cn</a>
	中国人民大学外国語学部 Renmin University of China	中国 北京市	中国政府が現在推進している「21世紀の重点大学プロジェクト」でも指定を受けている総合大学。	<a href="http://www.ruc.edu.cn">http://www.ruc.edu.cn</a>
	ボルドー市 (ボルドー美術学校) École des Beaux-Arts de Bordeaux	フランス ボルドー市	美術(絵画・デッサン・彫刻・版画・写真・ビデオ)、デザイン、コミュニケーション及びグラフィックアートの各科からなる美術学校。	<a href="http://www.mairie-bordeaux.fr">http://www.mairie-bordeaux.fr</a>

☆印は平成16年度交換留学実施大学